

2023 - 5月10日 議長選に立候補表明 高村京子 当日朝改定版

議長選挙に立候補しました高村京子です。コロナ禍のもとで正副議長選の所信表明会ができないことはありましたが、先輩議員たちの知恵と努力の中で、全国にも誇れるような仕組みが継承・発展され、こうして皆様に、立候補の所信の一端を述べる機会を与えていただきましたことに、心から感謝申し上げる次第です。

私は、県議7期目の任期をいただきました。今、日本社会は、新自由主義政策のもとで非正規労働者が4割となり、格差と貧困が拡大しています。コロナ禍のかつてない困難に見舞われたところに、光熱費をはじめ異常な諸物価の高騰によって暮らしも仕事も営業も大変深刻な事態におかれています。またロシアのウクライナ侵略が続いており世界の人々は戦争の一刻も早い終結を望んでいます。

私は、こうした情勢のもとで、新たなメンバーで県議会が始まるにあたり、改めて県民の切実な願いや要望を真摯に受け止め、議論を尽くし、県民益の向上に向けて役割を果たせる県議会が求められていると強く感じています。

前県議会では、旧統一協会と議員の関係が問題になり、県民からの批判や疑問が寄せられており、説明責任が求められています。また現職の県会議員が逮捕される事件も起きてしまいました。県会議員や県議会に対する信頼は大きく損なわれているのではないかと懸念しています。

今県議会選挙の投票率も44,47%と過去最低となっている事態も深刻です。

県議会としての権能の発揮、チェック機能としての役割、県議会が発信する情報のあり方なども問われているのではないのでしょうか。

憲法が保障する国民主権の実現に基づき、ジェンダー平等、多様性の尊重に向けて、議会のいっそうの努力が必要とされていると考えます。

具体的には、開かれた県議会へ議場や傍聴席のバリアフリー化、本会議の手話通訳者の配置や要約筆記のスクリーン表記、また議会活動の透明性向上のために政務活動費の領収書のインターネットによる公開も実現したいです。議会運営としては少数意見も尊重するようさらに改革を進めたいと思います。

地方自治体の役割は、命と暮らしを守り、福祉の向上に努めることです。

私は、各県議が対等・平等に活発に意見を述べ合い、県民の皆様の関心や信頼に応え、県民生活をいっそう向上させることができる県議会にしたいと考えています。誠実で活発な県議会に向けて、各議員のご支援ご協力をお願い申し上げ、私の所信を述べさせていただきました。

(1024文字)